

整形外科この1年

整形外科医長 小瀧 宏明

人事異動

平成15年は、小瀧宏明、須藤英毅、久田幸由の3名で3月まで診療を行なって参りましたが、4月より須藤英毅は北大病院へ転出し、交替で札幌市立病院より岩崎美憲が加わり診療にあたっております。現在も3名のスタッフで診療にあたっております。

診療状況

外来は従来通り、予約制、午前のみ受付で行なっています。月水金を2診体制、火木を1診体制で行ない、月曜日の午後に市内の検診を、水曜日の午後には検査・総回診を行っています。平成15年度の1日平均外来数および入院患者数は循環器・呼吸器内科の撤退も関与しているのか1割程度の減少となりました。また、入院患者の内訳は昨年と比較すると外傷の割合が減っていたように思われます。今年は退院や転院における問題点は少なくなりスムーズな移行ができたと思います。これには新しく出来た医療支援相談室が大きな役割を担っていたことは言うまでもありません。スタッフの皆様ありがとうございました。

手術件数およびその内容について

年間手術件数は422件でと前年と比べ少し増加しております。脊柱班の須藤の転出に伴い脊柱の手術は前年の20%程度にまで減少してしまいました。手、肘、肩を含む上肢の手術は30件強増加しましたが、膝の関節鏡視下手術や人工膝関節置換術は前年の半分程度に減少していました。他、高齢者の大腿骨頸部骨折は59件と昨年よりも増加しており全体の15%を占めていました。

今後の展望

研修医制度の変化に伴って、当整形外科の医師不足が深刻になっております。今後は専門的な治療を提供することが現状のスタッフだけでは難しくなることは必須であり、今まで以上に大学病院や近郊の関連病院との連携を大事にしていくことが患者の満足度の高い治療につながると考えています。私達スタッフ全員力を合わせて努力していきたいと思います。

平成16年 手術件数422件 ※重複例を含む(昨年の件数)

上肢外傷	橈骨遠位端骨折	17 (13)
	その他上肢外傷	73 (49)
	顕微鏡下手術	10 (7)
上肢変性疾患 (肩, 肘, 手)		
	拘縮性神経障害	22 (17)
	関節形成術	12 (11)
	その他	45 (53)
	靱帯再建手術	2 (2)
	人工関節置換術	0 (2)
下肢外傷	大腿骨頸部骨折	59 (55)
	他の骨盤, 大腿	12 (11)
	膝～下腿部	14 (25)
	足関節, 足部	24 (21)
	アキレス腱断裂	18 (9)
	膝鏡視下手術	11 (28)
	靱帯再建術	5 (4)
	人工関節置換術	13 (24)
	その他	32 (30)
脊椎	頸椎の手術	2 (10)
	腰椎の手術	9 (42)
金属除去		48 (48)